

令和7年度使用 中学校用教科用図書の調査研究資料 教科（国語）種目（国語）

調査項目	着眼点	調査の方法
1 学習指導要領 (平成29年告示)	(1)資質・能力の三つの柱（「知識・技能」の習得、「思考力・判断力・表現力等」の育成、「学びに向かう力・人間性等」の涵養）をバランスよく育成	・各領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）及び各事項（「言葉の特徴や使い方に関する事項」等）の内容が、学年ごとにどのように配分されているか。 ・語彙を豊かにする指導の内容、分量はどのようなものであるか。
	(2)各教科等及び各学年相互間の関連及び系統性、発展性	・「読むこと」「話すこと・聞くこと」「書くこと」の領域に関して、各学年にどのような言語活動が位置付けられているか。 ・「知識及び技能」(2)情報の扱い方に関する事項を扱った単元や内容、分量はどのようなものであるか。
	(3)主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善	・「読むこと」「話すこと・聞くこと」「書くこと」の領域の内容を指導するに当たり、どのような言語活動が設定されているか。（言語活動はどのようなプロセスで展開されているか）
2 第4次岐阜県教育振興基本計画 (令和6年3月策定) [2024(R6)年度～ 2028(R10)年度]	(1)「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実	・「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体化の充実に資する内容が、どのように位置付けられているか。
	(2)生徒の学習改善や教職員の指導改善につながる学習評価	・生徒が自らの学びを振り返って評価・改善しようとするために、どのような構成上の特徴があるか。
	(3)ICTを活用した学習活動	・二次元コードは、いくつ掲載されているか。 ・ICTを使った学習活動が掲載されているか。
3 印刷・製本等	(1)教科書の厚み、重量	・教科書の総ページ数、重量はどのようなものであるか。
	(2)文字の大きさ、字間、行間、書体、図版等	・障がいその他の特性の有無にかかわらず生徒が学びやすいものになっているか。
	(3)上記以外の使用上の便宜	・学習のポイントを示すマークや、索引等にはどのような特徴があるか